＜地域密着型サービス外部評価の概要＞

事業所	評価機関
評価機関選択・申込み →	
契約締結	
自己評価	**利用者家族アンケート調査**
事業所の**職員全員**で自己評価を実施します。 日頃のケアを点検し、取り組みの状況を具体的に把握することで、できていること・できていないことが明らかになり、サービス向上への糸口発見につながります。	ご家族の率直な意見を評価の参考とするため、アンケート調査を行います。
参考書類準備	
訪問調査	
調査員がお伺いし、事業所内の設備やご利用者の様子を見せて頂いたり、管理者・職員の方へのヒアリングを行います。「介護サービス情報の公表」と同一日に実施の場合、計画で定められた調査月に実施することができます。	
調査報告書（評価結果） 事業所で評価内容を確認してください。事業所の合意が得られれば評価確定となります。事実誤認や疑問点などがあれば意見として申し出ることができ、評価機関で再度報告書の内容を検討して再提示します。	
評価結果の確定・公表	
評価結果の活用	評価機関では、評価結果を**WAMNET に掲載**します。 インターネットで誰でも見ることができるようになります。
目標達成計画の作成 次のステップに向けた目標を整理し、「目標達成計画」を作成してください。 → **提出**	**「目標達成計画」を WAMNET に公表します。**
評価結果と目標達成計画が確定したら、事業所では「市町村へ送付する」「運営推進会議、家族会等で報告する」「事業所内で閲覧可能にする」「入居希望者に渡す」など、**評価結果の報告・公開**をしてください。	
サービス評価の振り返り 目標達成計画を作成したら、「サービス評価の実施と活用状況」シートを使って、サービス評価をどう活かせたかを振り返りましょう。	事業所は、評価結果を踏まえての目標達成状況・サービス向上に向けた取組状況を、随時 WAMNET に掲載できます。
「外部評価実施後アンケート」を宮城県長寿社会政策課へ提出してください。	